

フットサル競技実施要項(オープン大会)

1. 競技種目

フットサル競技とする。

2. 競技規定

大会開催年度の(公財)日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」及び本大会申し合わせ事項による。

3. クラス

男子部門・女子部門とする。

4. 出場資格ならびにエントリー、代表枠の確定

- ① 加盟団体単位に編成したチームとする。ただし、加盟団体単位にチームを編成できない場合は、当該ブロック内に限り、連合チームを編成することができる。
- ② 所属ブロック内にフットサルチームがない場合に限り、他ブロックのチームに加入することができる。
- ③ 加盟団体単位の申込チーム数に制限は設けない。当該ブロック内の連合チームは1チームとする。
- ④ 本大会の出場チームは地元代表チームと合わせ、各20チーム以内とする。
- ⑤ 申込チーム数が20チームとなった時点で、申し込みを締め切る。(先着順とする。)
- ⑥ 先着順になった場合、当該ブロック内のチーム数を調整する。ただし当該ブロック内で大会があれば、成績順、大会が無ければブロック内で予選を実施してもらうなど調整をしてもらう。

5. チームの編成

1チームの編成は、監督・コーチ・マネージャーを含めて、15名以内とする。ただし、ベンチに入る交代要員の選手は7名以内とする。(プレーする5名に交代要員最大7名を加えた12名までが選手登録できる)

6. 競技方法

トーナメント方式で行なうものとする。ただし、3チームの場合は総当たり戦とする。

試合時間は、男子競技、女子競技ともにランニングタイム20分ハーフ(インターバルは5分)とする。

勝敗が決しない場合は3名によるPK戦(サドンデス方式)により勝者を決定する。

7. 競技ルール（第2PK方式）

前後半で各6回目の直接FKになるファウルのカウントにより、「第2PK」を与える。

8. 使用球

試合球は、(公財)日本サッカー協会公認フットボールとする。

マルチボール方式を採用する。

9. 組み合わせ抽選

監督・主将等合同会議において、抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議への出席受付順とする。

ホーム・アウェーのユニフォーム一式を持参すること。(GK用も含む)

10. 警告・退場者の取り扱い退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。警告を2回受けた選手は自動的に次の試合に出場する事ができない。処分は試合終了後、競技本部にて決定し、チームに通告する。

11. 危険物及び装身具

競技中はメガネ及び補聴器・指輪・ピアス・ネックレス等・全ての装身具は禁止とする。スポーツメガネについては、主審の判断により使用を認める。

12. ユニフォーム

- ① 正規のユニフォームの他に、これと異なる色系統の副のユニフォーム(上衣・ショート・ストッキング、それぞれについても異なる色系統とする)を携行し、ユニフォームには背番号・胸番号・ショーツ番号をつけるのが望ましい。
- ② 選手番号は、必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること
- ③ ユニフォームに取り付ける選手番号の位置については、
 - 1) シャツの背中:高さ25cm
 - 2) ショーツの前面・右側・左側・中央に高さ10cm
 - 3) パンツの右側又は左側に高さ8cm(シャツの番号と同一)
- ④ 参加申込書にはユニフォーム・パンツ・ストッキング(正・副の色系統2種類)を明記する。
- ⑤ 対戦する両チームのユニフォームが同系色と判断される場合は、試合開始10分前に主審のコイントスによりそれぞれチームの色を決定する。

13. 審判の合図

フリーキック、PK、ブレースキックで、キッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。もしくは、フラッグ(旗)を使用して示すものとする。

14. 表彰は決勝戦終了後、閉会式において行う。

優勝チームから3位まで(各1チーム)に賞状及びメダルを表彰する。チーム数に応じて変更することがある。

個人表彰は、「最優秀選手賞」(1名)・「優秀選手賞」(ベスト4のチームから各1名)とし、選考は競技本部及び審判団にて行う。

15. 注意事項(競技者の用具も含む)

① 競技用具のチェック

試合開始前に背番号・胸番号・パンツ番号・危険物の着用・すね当ての検査を行う。

フットサルシューズ

・靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明以外の色はノンマーキングシューズで、スパイクシューズではないフットサルシューズのみを使用可能とする。

ただし、本大会会場の利用規定により前述の靴であっても使用できない場合がある。

・イボ付きシューズは禁止とする。

② メンバー表の提出

メンバー表は3部複写とし、3部提出し確認を受けること。1部はチーム控えとして返却する。各チームの第1試合目については試合開始予定時間の30分前に競技本部に提出すること。但し、以後の試合についての確認は不要とする。

万が一、事後の追加は本部の判断とする。

③ チーム・ベンチ

競技組み合わせ表の番号の若いチームが予備審判席からコートに向かって左側のベンチとする。なお、ベンチに座る選手は必ずビブス着用のこと。

④ 練習時間

コートでの練習は前の試合終了時から10分間とするが、試合開始時刻の定刻までとする。大会運営上、試合開始時刻を優先する。

⑤ 競技の組み合わせ

組み合わせ方法は競技実施要項にもとづくものとするが、最終的には参加申し込みチーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。

⑥ その他

- (1) 注意事項は、チーム全員に徹底しなければならない。
- (2) 実行委員会は大会参加締切後、参加チームが 3 チームに満たない場合は、すぐ一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会事務局にその旨を伝えること。
- (3) 主催関係者は参加者の事故・傷害・障害・会場破損事故等に関しては、一切の責任を負わないものとする。(チームで対応すること。)
- (4) スポーツ傷害保険等は、各チームにおいて加入しておくこと。